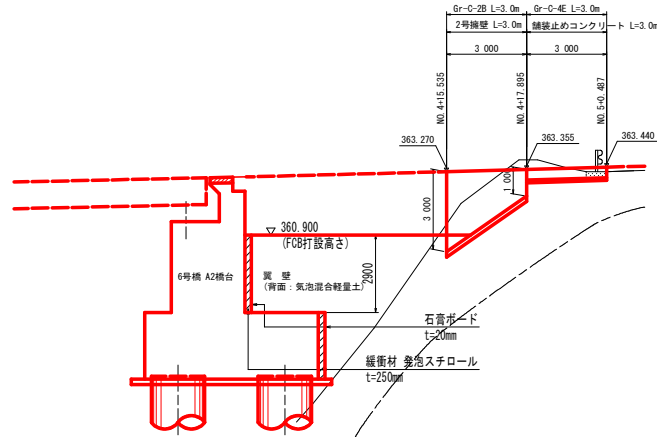


# 擁壁工展開図

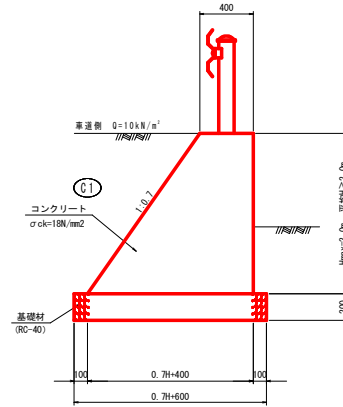
3工区

展開図 S=1:100



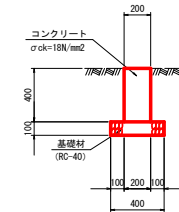
T.P+350.000

2号擁壁 S=1:20

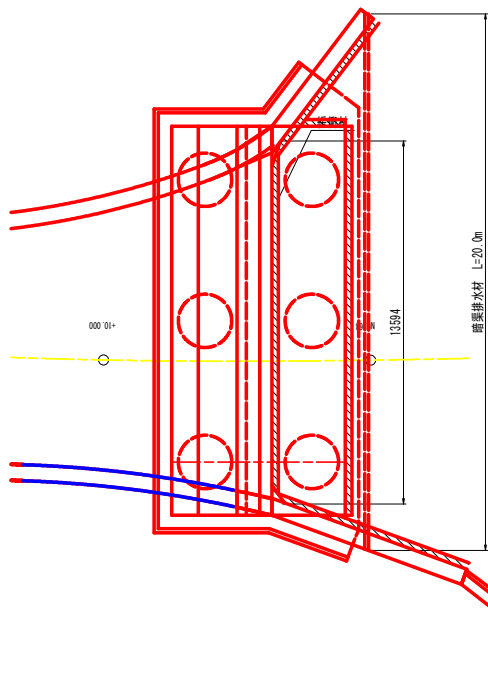


注) 水抜きパイプ (VP-45) を2c1に1箇所設けること。  
水抜きパイプ設置箇所には吸い出し防止材を設けること。

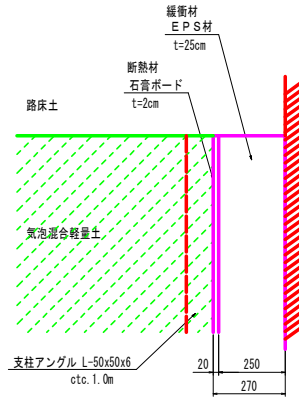
舗装止めコンクリート S=1:20



平面図 S=1:100

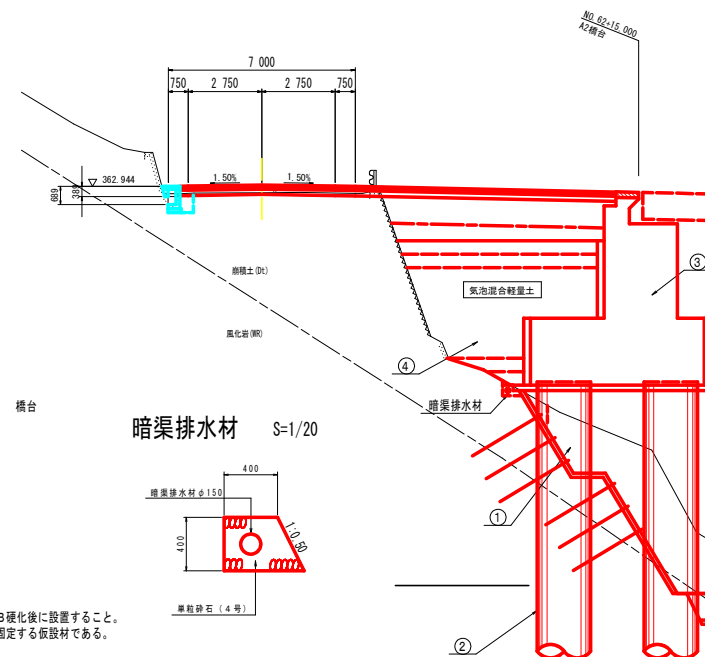


緩衝材詳細図 S=1/10



注) EPS材は熱に弱いので、FCB硬化後に設置すること。  
支柱アングルは、石膏ボードを固定する仮設材である。

NO. 4



川井6号橋A2橋台背面側の施工手順

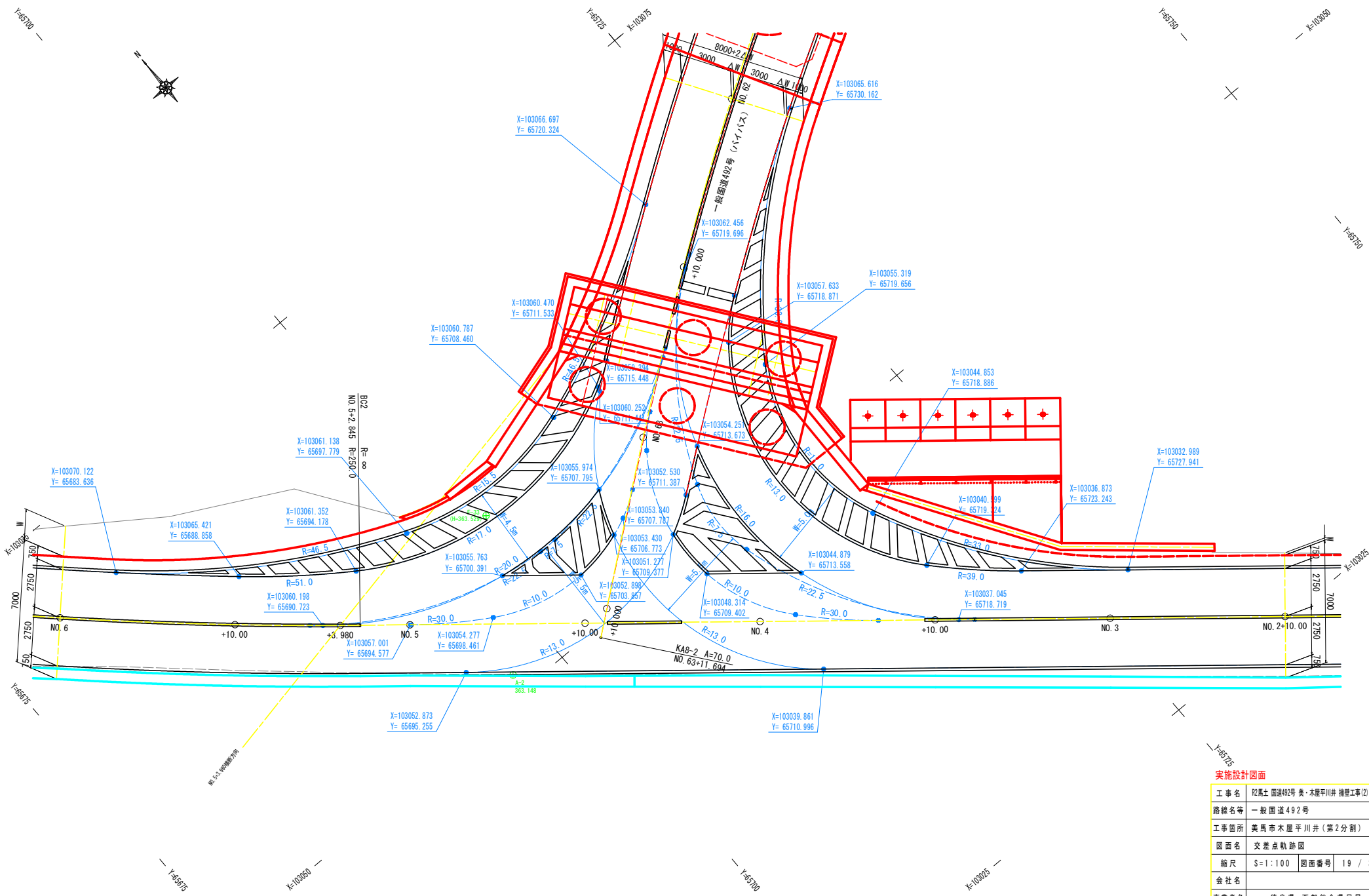
- ① 気泡混合軽量土によりA2橋台の構台を施工
- ② 橋台杭基礎の施工
- ③ 橋台本体の施工
- ④ 橋台背面に気泡混合軽量土を360.900まで打設。
- ⑤ 取合擁壁(2号擁壁)を施工

実施設計図面

工事名	R2馬土 国道492号 美・木壁平川井 擁壁工事(2)		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木壁平川井(第2分割)		
図面名	擁壁工展開図		
縮尺	図示	図面番号	18 / 30
会社名			
事業者名	徳島県 西部総合県民局		

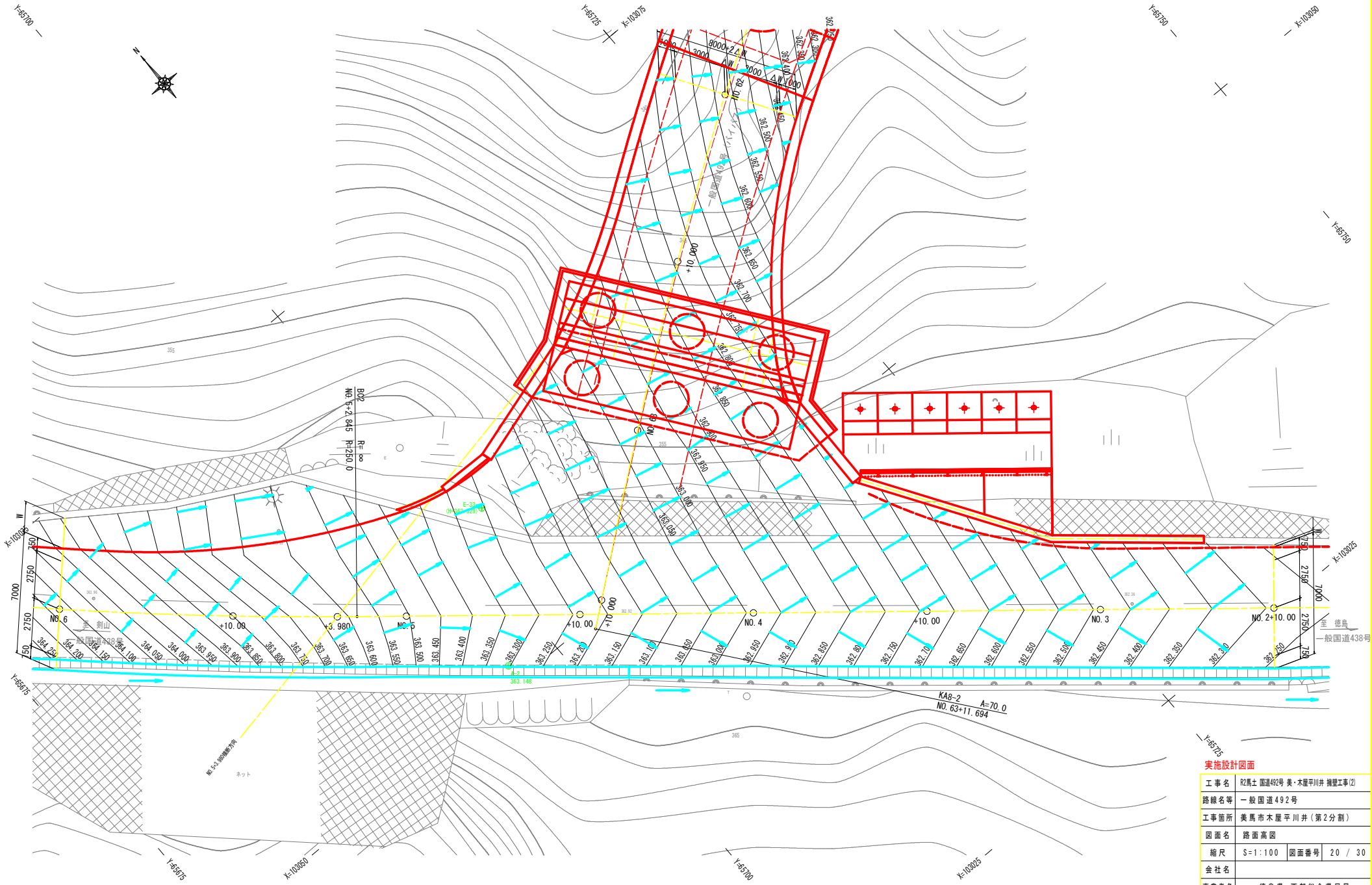
# 交差点軌跡図 S=1:100

3工区



路面高図 S=1:100

3工区

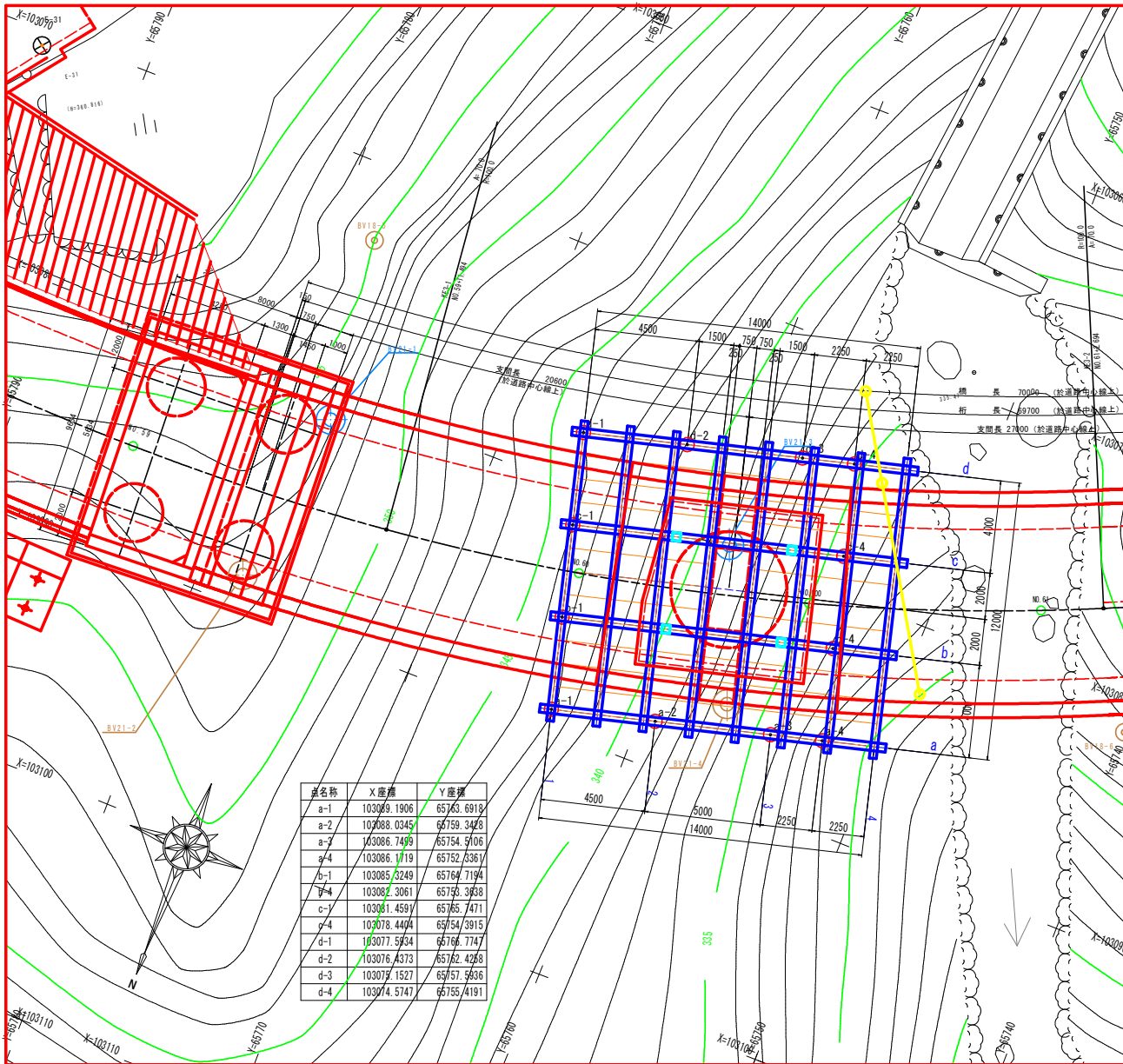


実施設計図面

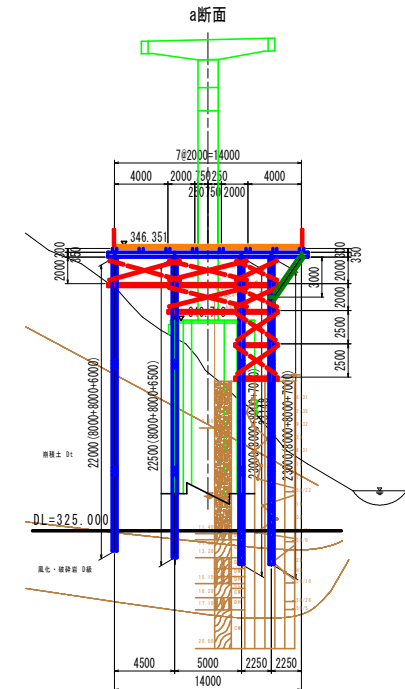
工事名	和馬土 国道492号 美・木屋平川井 掘壁工事(2)		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平川井(第2分割)		
図面名	路面高図		
縮尺	S=1:100	図面番号	20 / 30
会社名			
事業者名	徳島県 西部総合県民局		

# P1橋脚部仮設構台一般図

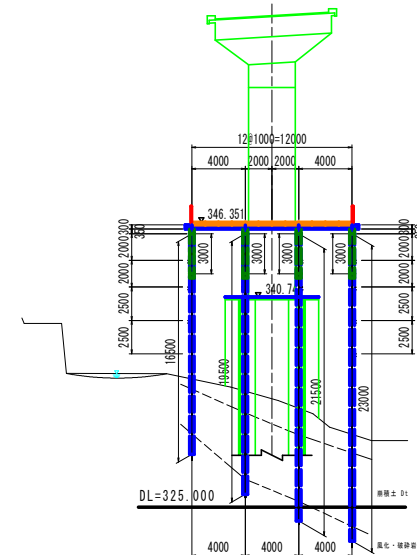
平面図 S=1:100



断面図 S=1:200



4断面



注) 仮設構台は、構台ヤード14.0m×12.0mに対し、仮設資材および柱頭部コンクリート主桁重量として、最大時 q=25kN/m<sup>2</sup>を見込んでいます。そのため、これを上回る死荷重が作用する場合は、実荷重に応じた再検討を行うこと。

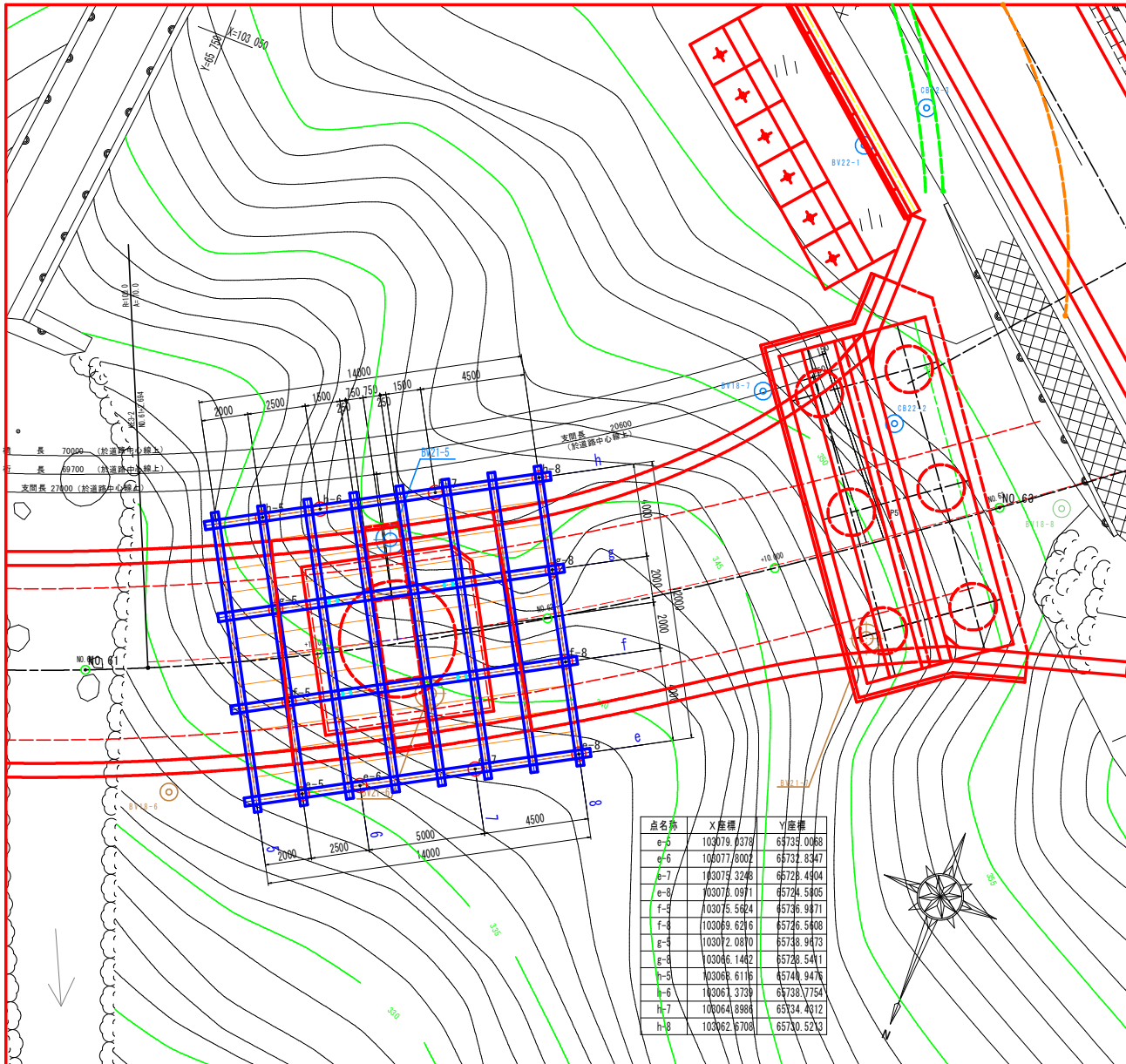
支柱杭立て込みの際し、すでに施工が完了している構造物との干渉が避けられない場合は、適宜形状変更の検討を行うこと。

実施設計図書	
工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川井 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川井(第2分劃)
図面名	P1橋脚部仮設構台一般図
縮尺	図示 図面番号 21 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)



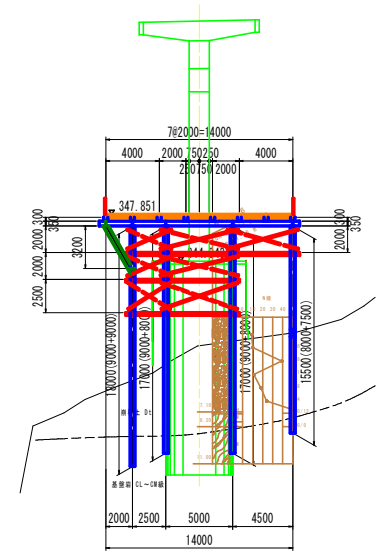
# P2橋脚部仮設構台一般図

平面図 S=1:100



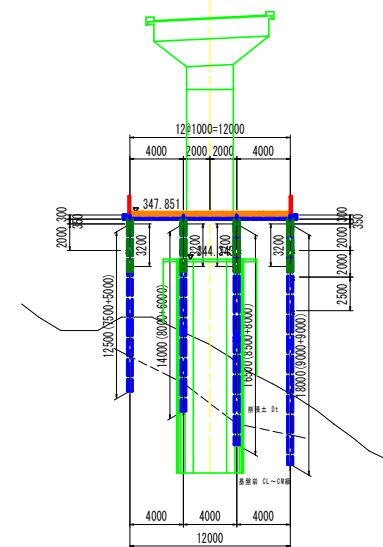
断面図 S=1:200

e断面



DL=320.000

5断面



DL=320.000

註) 仮設構台は、構台ヤード14.0m×12.0mに対し、仮設資材および柱頭部コンクリート主桁重量として、最大時 q=25kN/m<sup>2</sup>を見込んでいます。そのため、これを上回る死荷重が作用する場合は、実荷重に応じた再検討を行うこと。

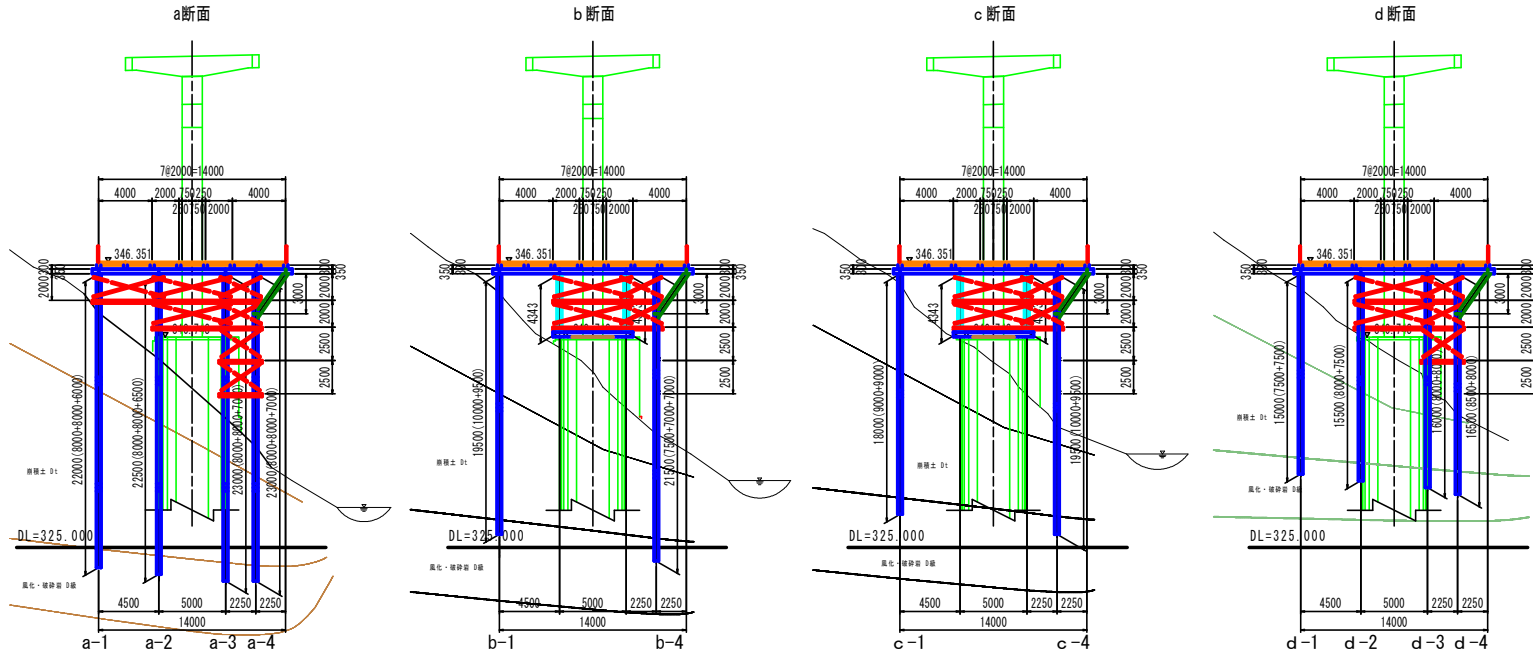
支柱杭立て込みに際し、すでに施工が完了している構造物との干渉が避けられない場合は、適宜形状変更の検討を行うこと。

## 実施設計図書

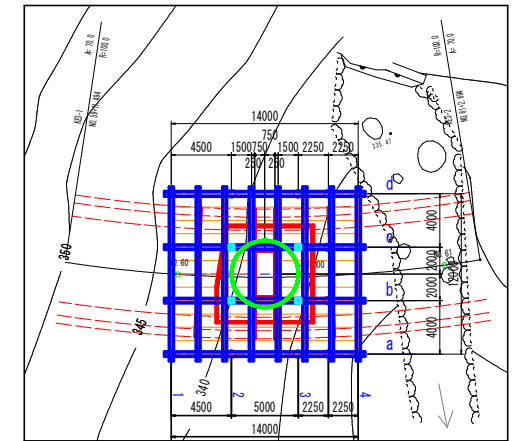
工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川井 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川井(第2分測)
図面名	P2橋脚部仮設構台一般図
縮尺	図示 図面番号 21 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)

# P1橋脚部仮設構台断面図

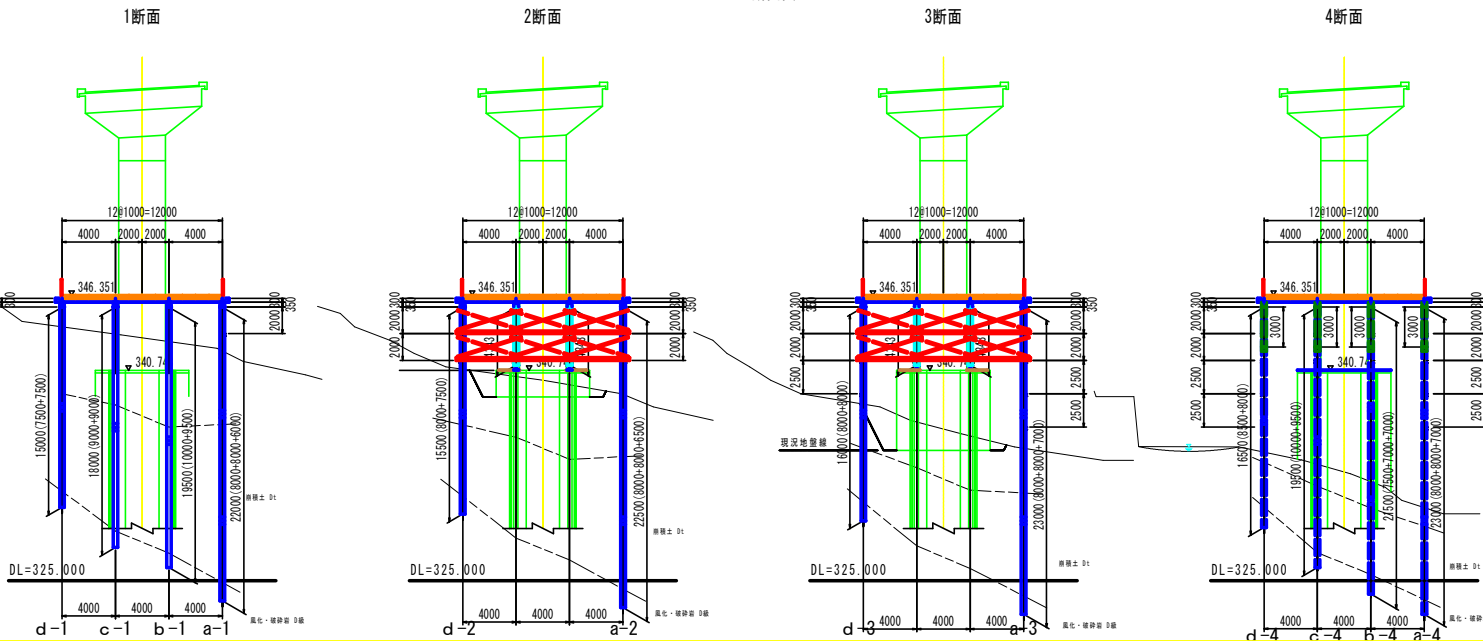
断面図 S=1:200



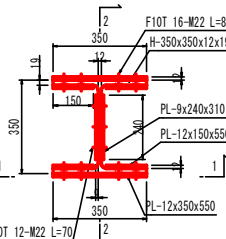
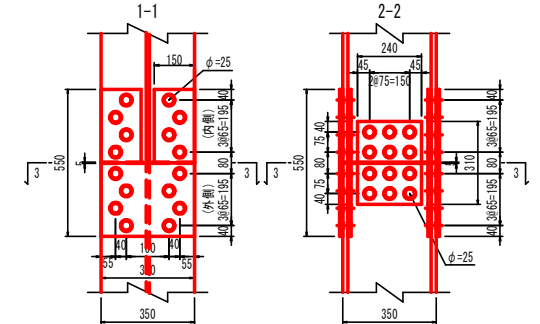
平面図 S=1:200



断面図 S=1:200



杭継手部詳細図 S=1:10



根入れ部断面図

支柱 H-350x350x12x19 モルタル充填



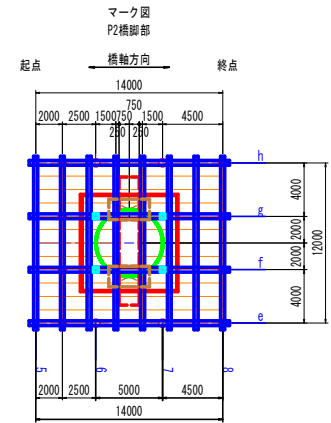
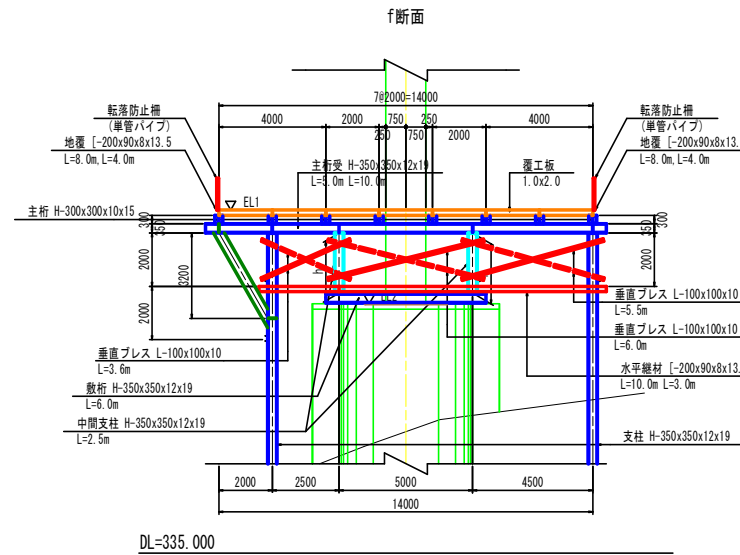
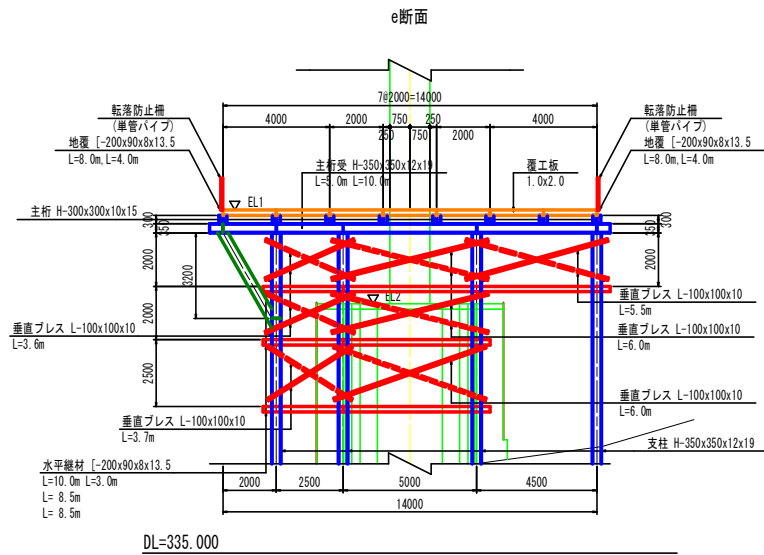
H-350x350x12x19 設計杭径φ495、削孔径φ550 (ダウンザホールハンマー施工)

註) 支柱は、礫質土層へ4.0m以上、かつ風化岩層へ1.0m以上の根入れを確保すること

実施設計図面	
工事名	R2馬場 国道492号 美・木屋平川并 擁護工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川并(第2分測)
図面名	P1橋脚部仮設構台断面図
縮尺	図示 図面番号 23 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合農林局(美馬)

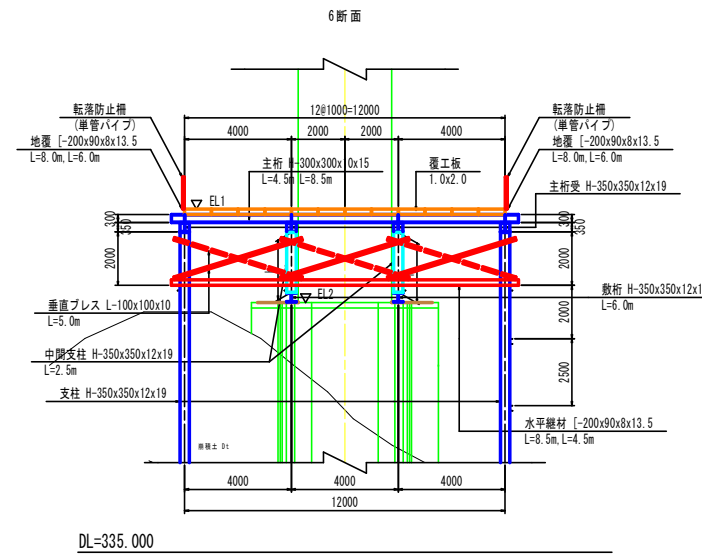
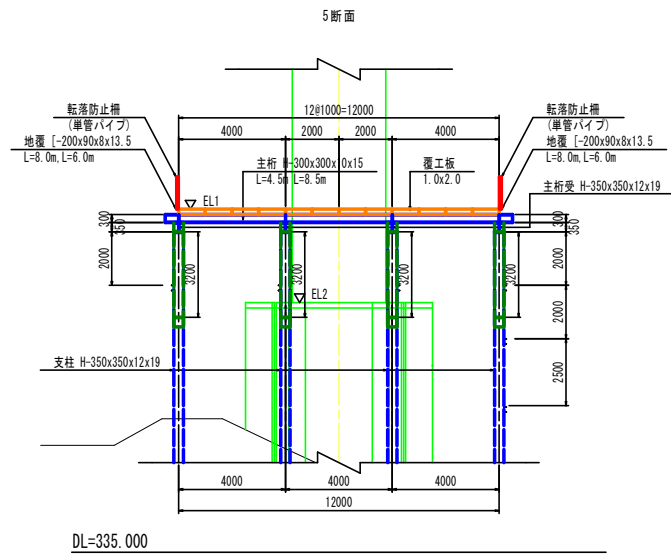


橋脚部仮設構台詳細図 (その1) S=1:100



計画高さ管理表

	EL1	EL2	h
P1橋脚	346.351	340.743	4.343
P2橋脚	347.851	344.343	2.243



註) 垂直ブレスは直行する部材同士が干渉しないよう取り付けを行うこと。

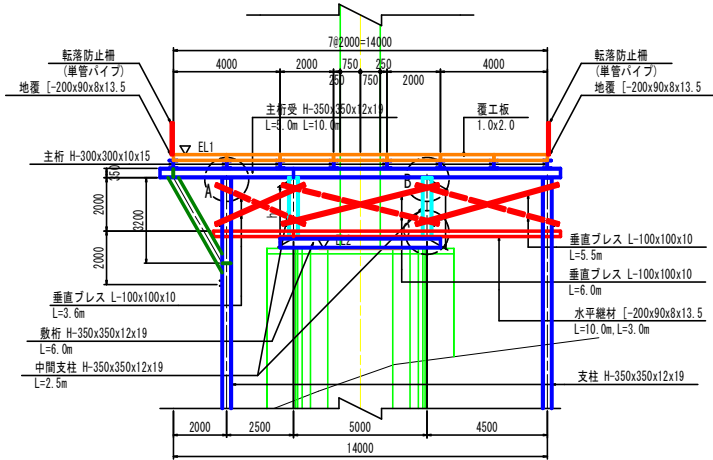
実施設計図面

工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川并 擁壁工事(2)		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平川并(第2分劃)		
図面名	橋脚部仮設構台詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 30
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)		



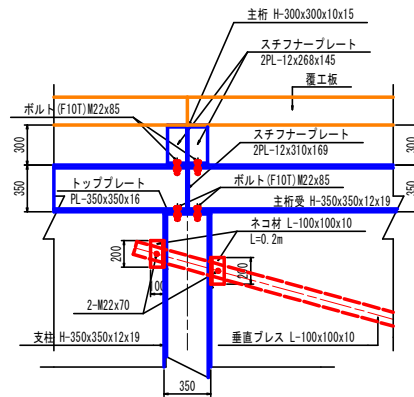
# 橋脚部仮設構台詳細図 (その2)

f断面 S=1:100

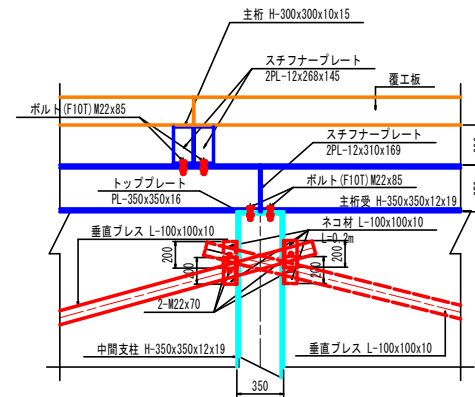


DL=335.000

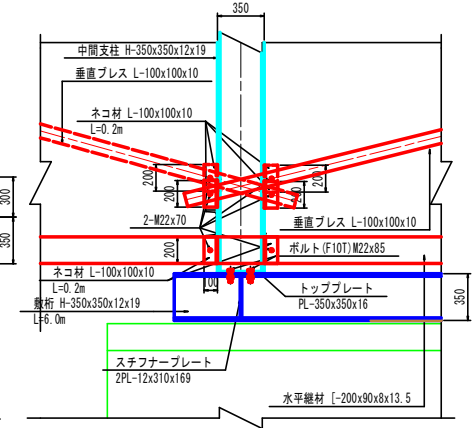
A部拡大図 S=1:20



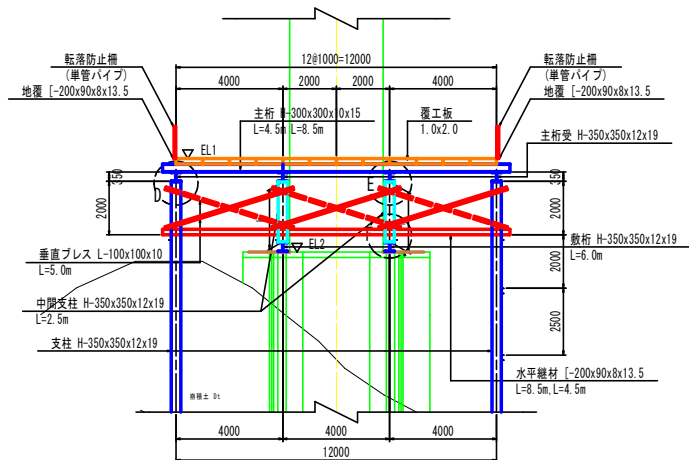
B部拡大図 S=1:20



C部拡大図 S=1:20

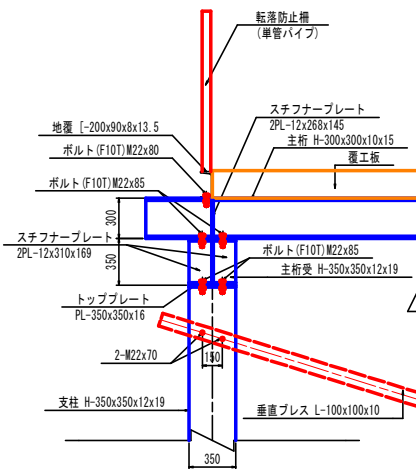


G断面 S=1:100

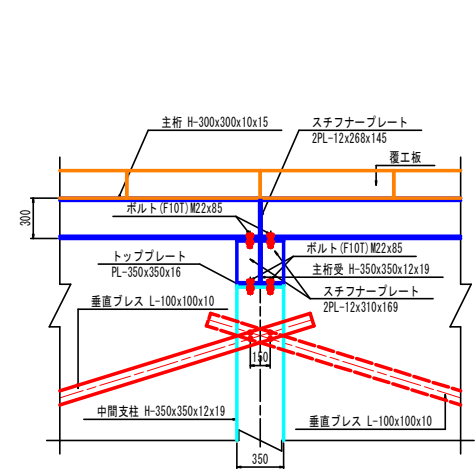


DL=335.000

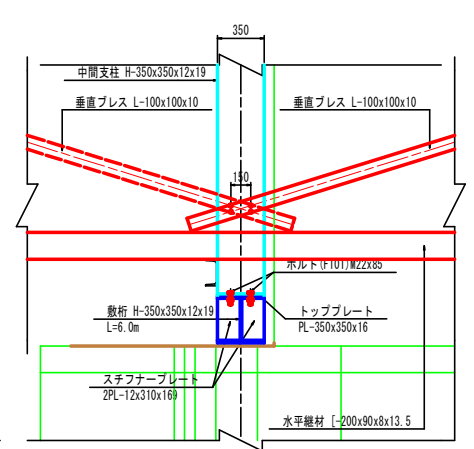
D部拡大図 S=1:20



E部拡大図 S=1:20



F部拡大図 S=1:20



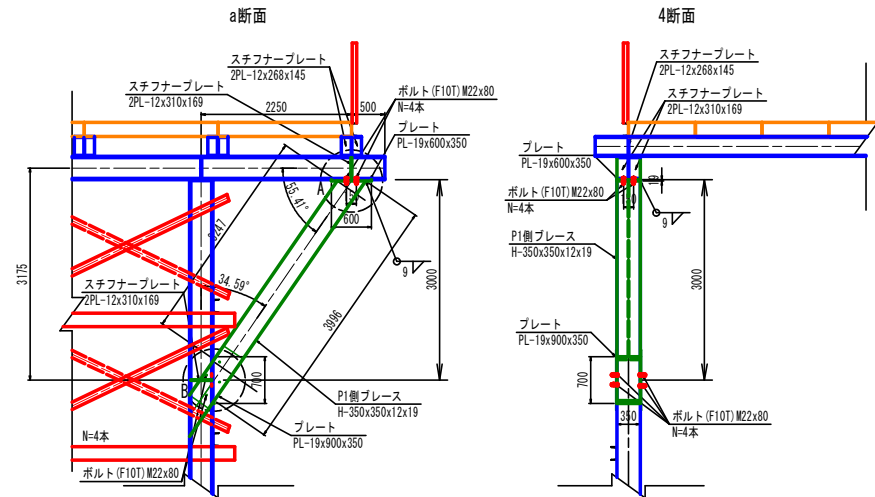
註) 垂直ブレスは直行する部材同士が干渉しないよう取り付けを行うこと。

実施設計図面	
工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川并 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川并(第2分劃)
図面名	橋脚部仮設構台詳細図(その2)
縮尺	図示 図面番号 26 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)

# ブレース部詳細図

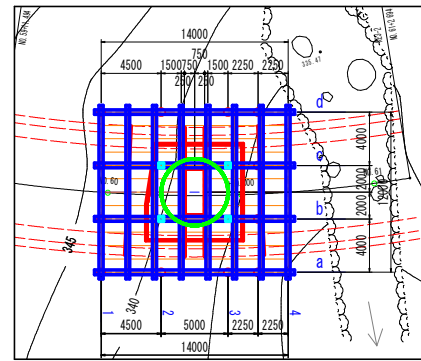
P1側ブレース部

S=1:40



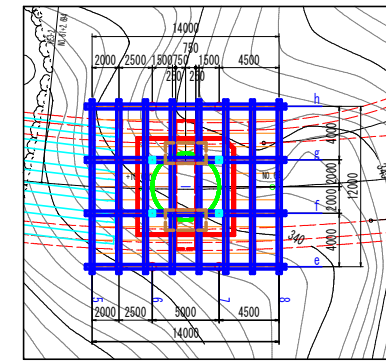
P1橋脚部平面図

S=1:200



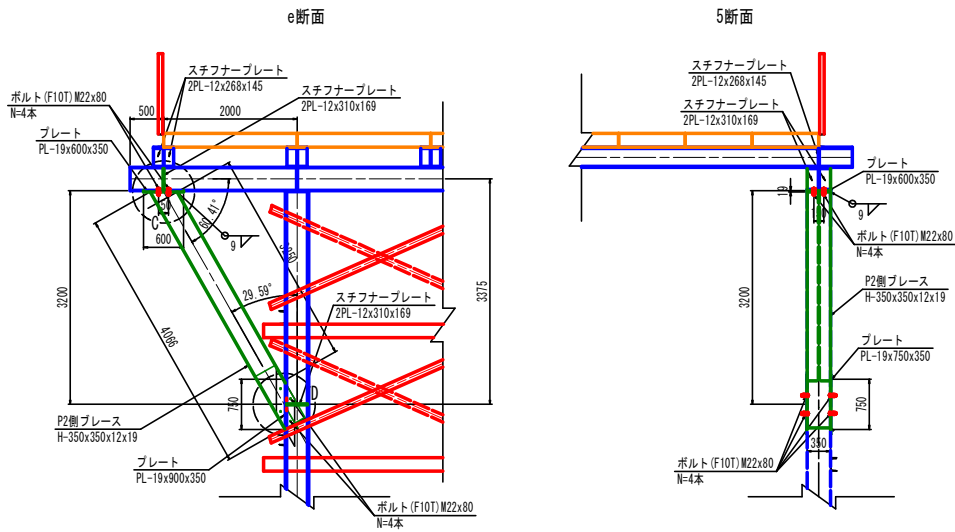
P2橋脚部平面図

S=1:200



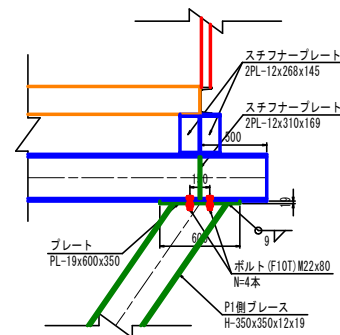
P2側ブレース部

S=1:40



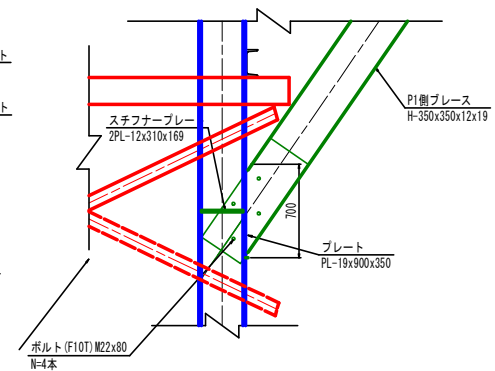
A部拡大図

S=1:20



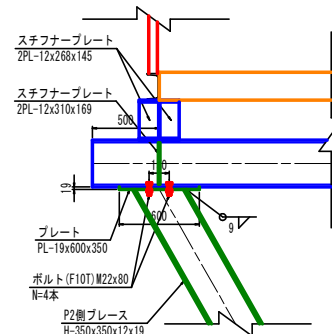
B部拡大図

S=1:20



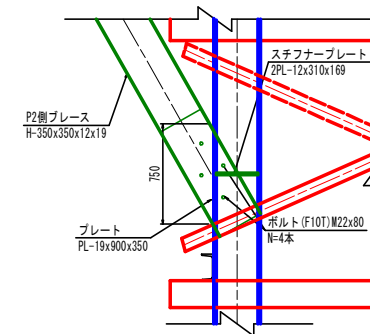
C部拡大図

S=1:20



D部拡大図

S=1:20

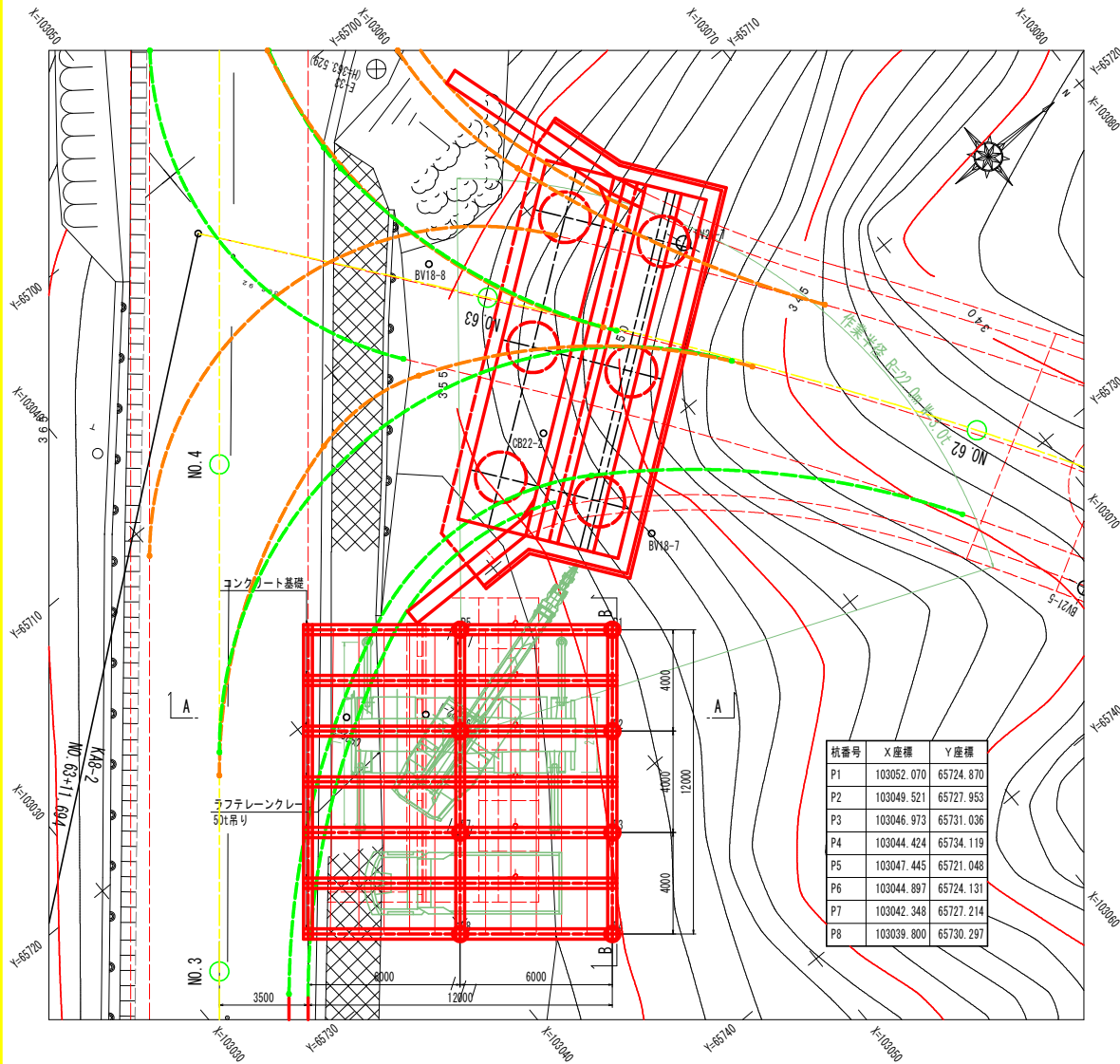


実施設計図面	
工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川并 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川并(第2分劃)
図面名	ブレース部詳細図
縮尺	図示 図面番号 27 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)

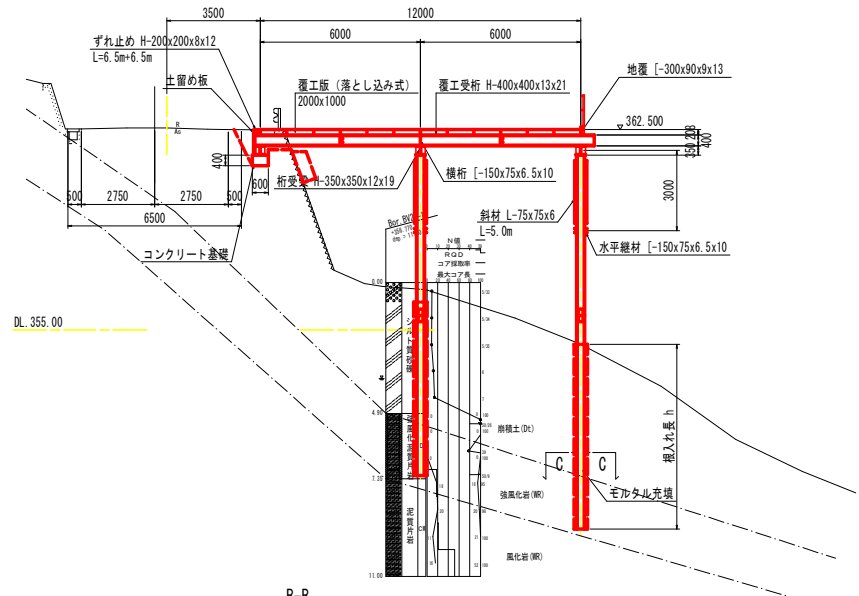
仮設構台一般図 (その1)

S=1:100

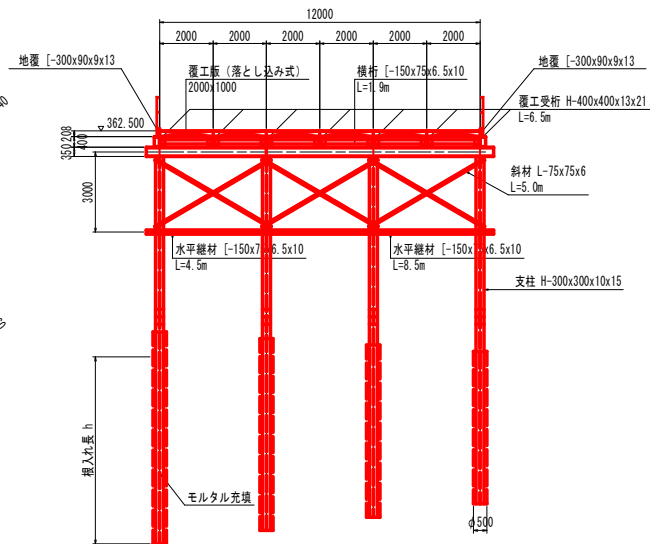
平面図



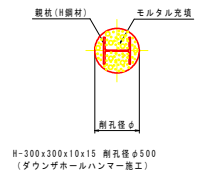
A-A



B-B



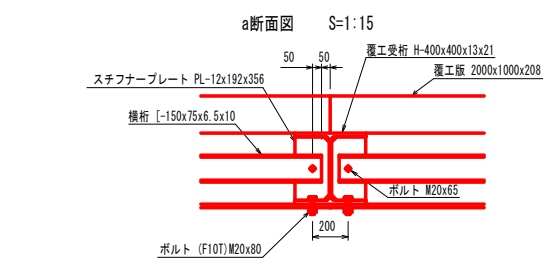
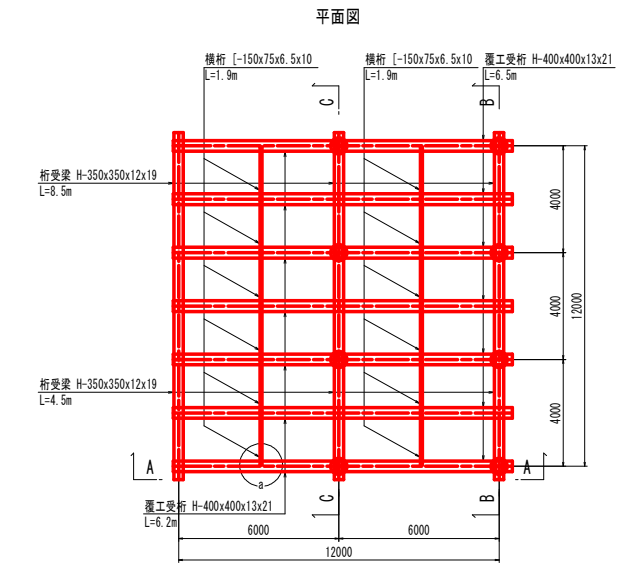
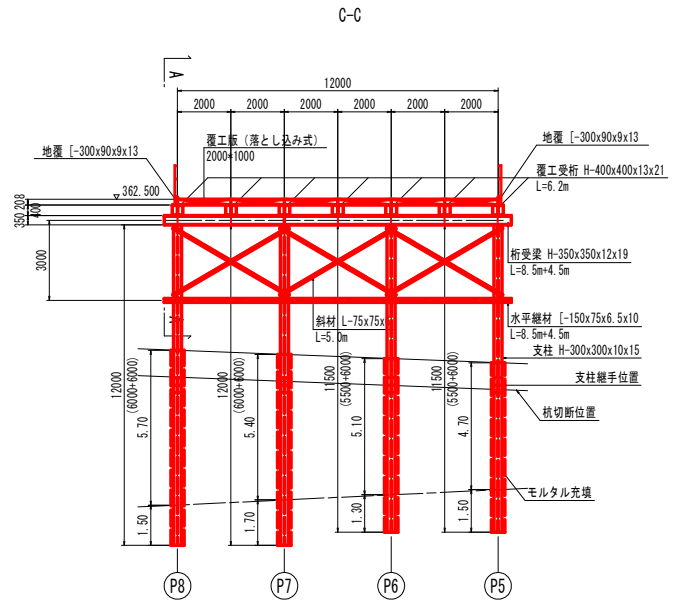
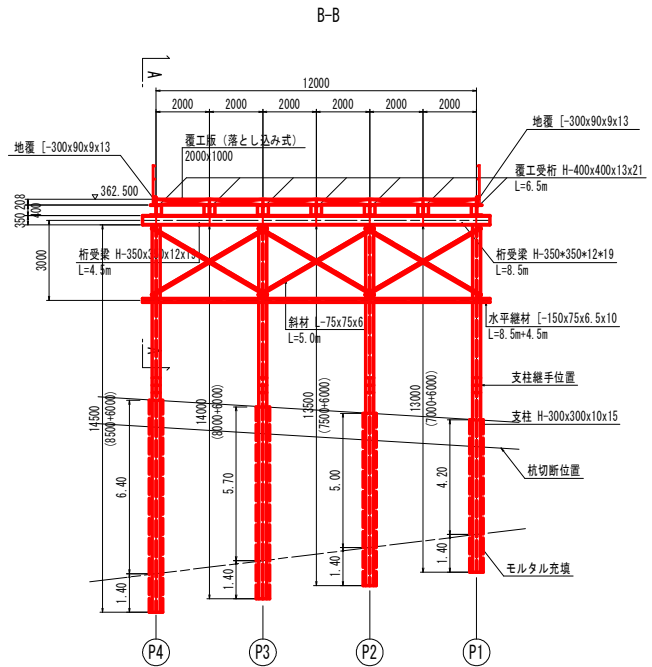
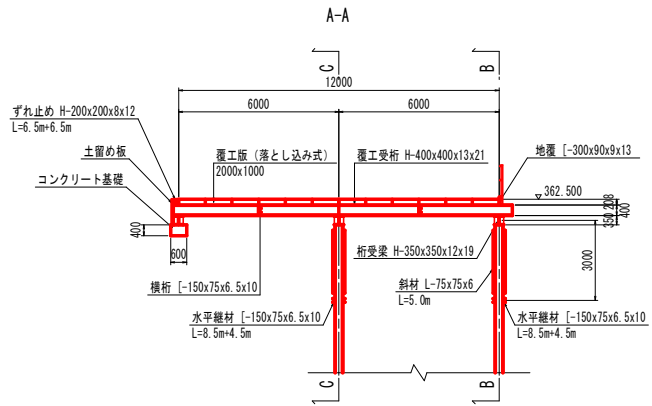
断面図 (C-C)



実施設計図面

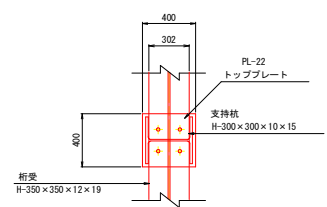
工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川并 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川并(第2分劃)
図面名	仮設構台一般図(その1)
縮尺	図示 図面番号 28 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)

# 仮設構台一般図 (その2) S=1:100



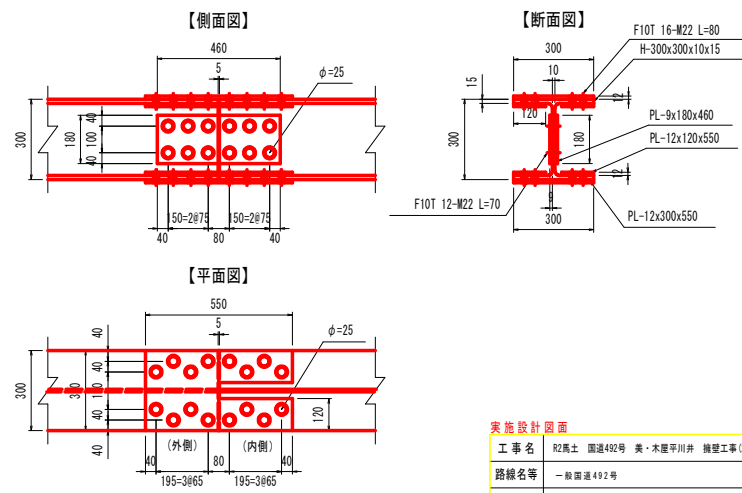
支柱材料諸表

杭番号	杭全長 (上杭+下杭)	規格: H-300×300×10×15	
		削孔長	
		土砂部	軟岩部
P1	13.0m (6.0+7.0)	4.20	1.40
P2	13.5m (6.0+7.5)	5.00	1.40
P3	14.0m (6.0+8.0)	5.70	1.40
P4	14.5m (6.0+8.5)	6.40	1.40
P5	11.5m (6.0+5.5)	4.70	1.50
P6	11.5m (6.0+5.5)	5.10	1.30
P7	12.0m (6.0+6.0)	5.40	1.70
P8	12.0m (6.0+6.0)	5.70	1.50



註) 仮設構台の撤去に当たって、支柱は現地盤線-1.0mの位置にて切断とする。

## 杭継ぎ手詳細図 S=1:10

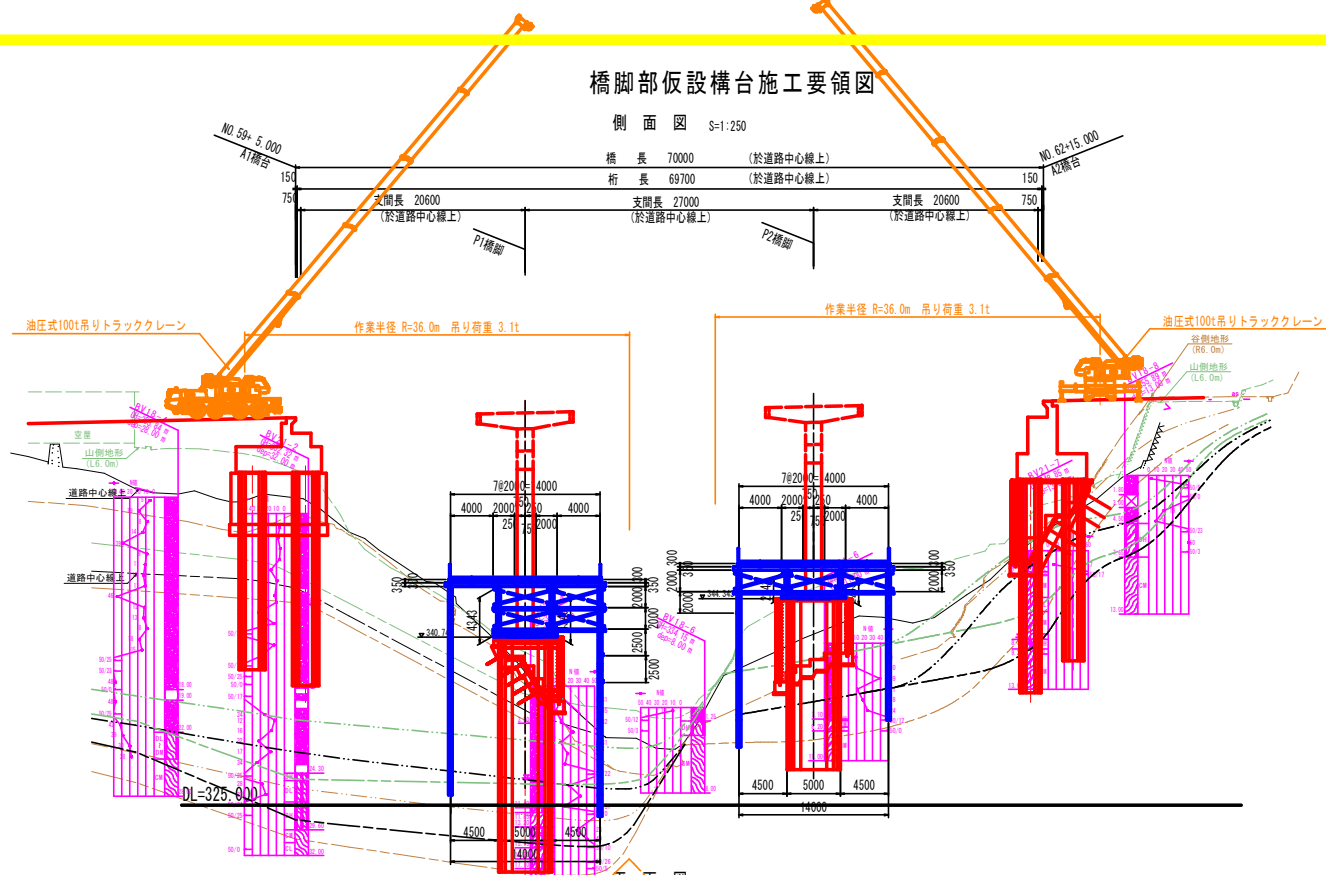


実施設計図面

工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川井 擁壁工事(2)
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平川井(第2分断)
図面名	仮設構台一般図(その2)
縮尺	図示 図面番号 29 / 30
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)

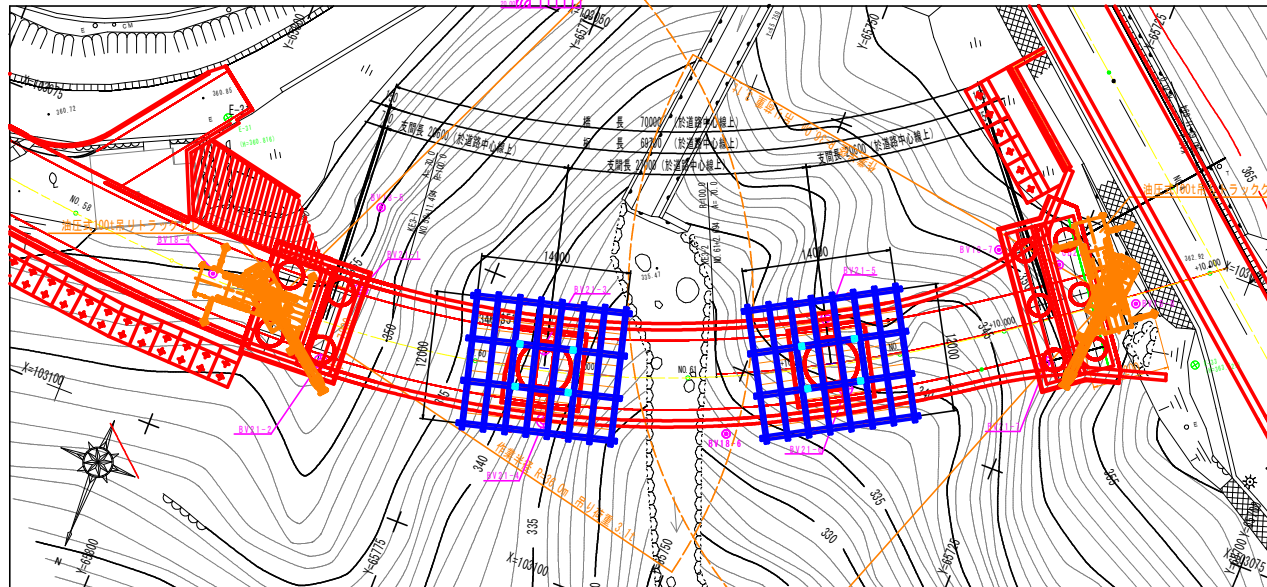
# 橋脚部仮設構台施工要領図

側面図 S=1:250



山前 L6.0	機械土丘
中心線	風化・破砕岩 D級
谷側 R6.0	基礎層 CL=0M級

平面図 S=1:250



アウトリガ最大張出 W=7.2m				
ブーム長さ	37.9m	41.7m	45.4m	49.2m
作業半径 (m)				
7.0	16.2	14.4		
8.0	16.2	14.4	13.3	
9.0	16.2	14.4	13.3	12.5
10.0	15.2	14.4	13.3	12.5
12.0	12.9	12.8	13.3	12.5
14.0	11.1	10.9	11.9	12.5
16.0	9.7	9.4	10.3	11.0
18.0	8.5	8.2	9.0	9.7
20.0	7.6	7.2	8.0	8.6
22.0	6.8	6.4	7.1	7.7
24.0	6.1	5.7	6.4	7.0
26.0	5.6	5.1	5.8	5.9
28.0	5.1	4.6	5.2	5.0
30.0	4.7	4.1	4.7	4.3
32.0	4.3	3.8	4.0	3.7
34.0	4.0	3.4	3.5	3.1
36.0		3.1	3.0	2.6
38.0		2.8	2.6	2.2
40.0			2.2	1.8
42.0			1.9	1.5
44.0				1.2
46.0				1.0

ALL TERRAIN CRANE GA-1000N 参考

## 実施設計図面

工事名	R2馬土 国道492号 美・木屋平川井 擁壁工事(2)		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平川井(第2分劃)		
図面名	橋脚部仮設構台施工要領図(参考図)		
縮尺	表示	図面番号	30 / 30
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)		